

**第 2 期成田市子ども・子育て支援事業計画策定に係る  
ニーズ調査の結果について(概要版)**

**平成 31 年 3 月**

## 1 調査の結果概要（就学前児童）

○調査対象：成田市在住の就学前児童がいる家庭の保護者 1500 世帯

○調査期間：平成 30 年 11 月 5 日～平成 30 年 11 月 21 日

○調査方法：幼稚園・保育所における配布・回収、郵送配布・回収

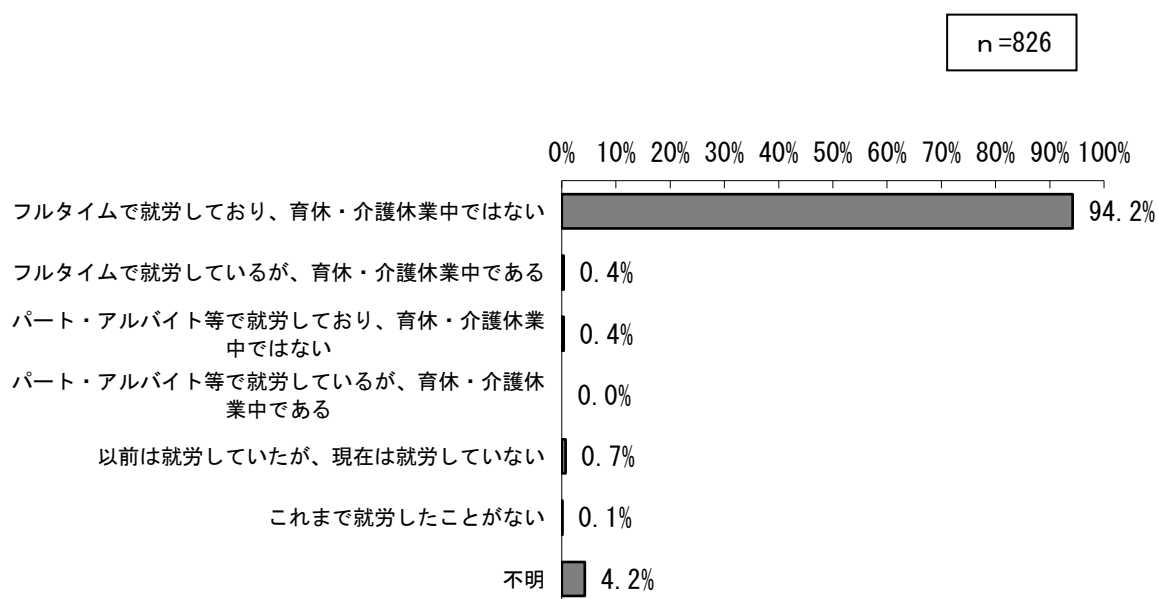
○配布・回収：

配布数	回収数	回収率
1500 票	826 票	55.1%

### （1）両親の就労状況

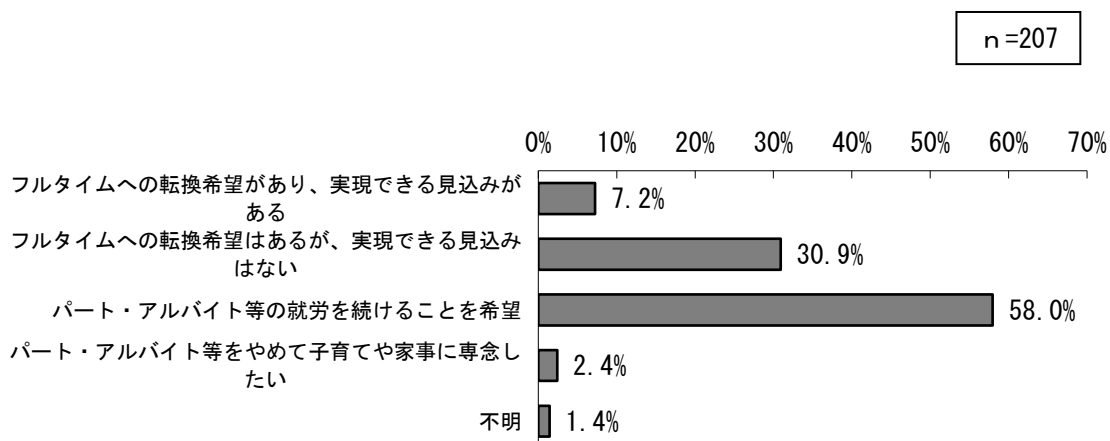
○父親の就労状況

「フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 94.2%と大多数を占めています。



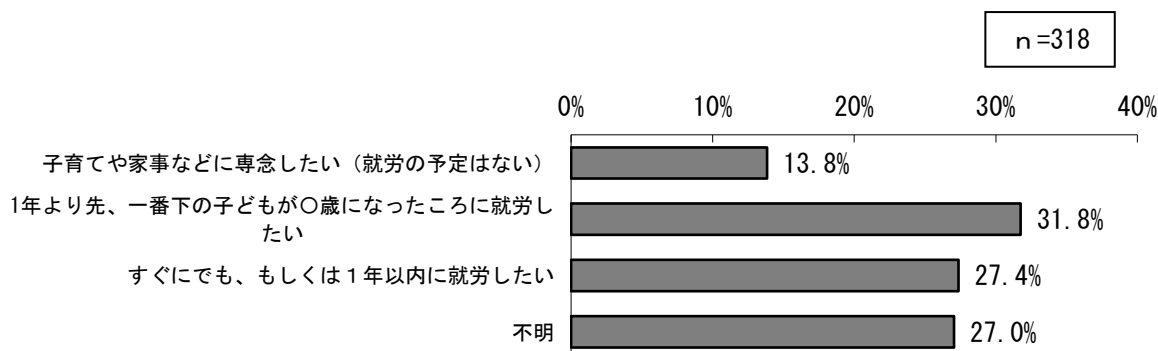
## ○母親の就労状況

パート・アルバイト等で就労している母親の、今後の就労についての希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が58.0%と最も大きく、次いで「フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しいと考えている」が30.9%、「フルタイムへの転換を希望しており、実現の見込みがある」が7.2%となっています。



## ○現在就労していない母親の今後の就労希望

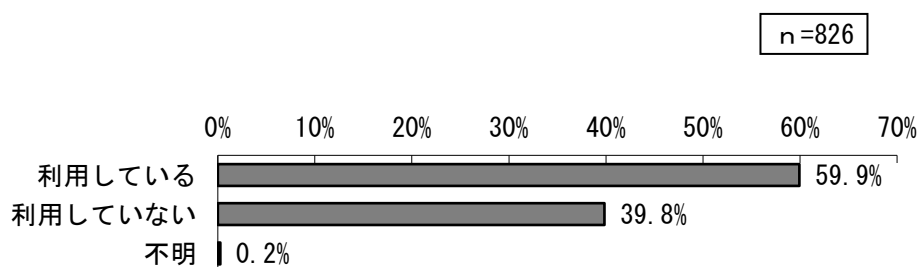
就労していない母親の、今後の就労についての希望は、「1年より先に、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が31.8%と最も大きく、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が27.4%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はなし）」が13.8%となっています。



## (2) 教育・保育事業の利用について

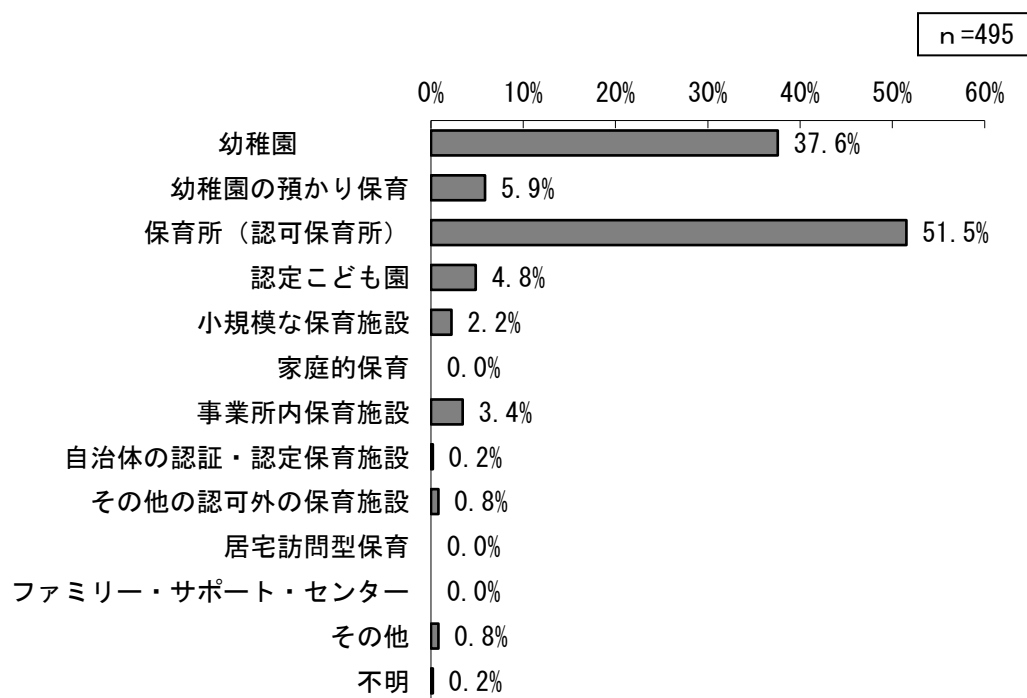
### ○定期的な教育・保育事業の利用状況

幼稚園や保育園（所）など「定期的な教育・保育の事業」の利用有無については、「利用している」が59.9%、「利用していない」が39.8%となっています。



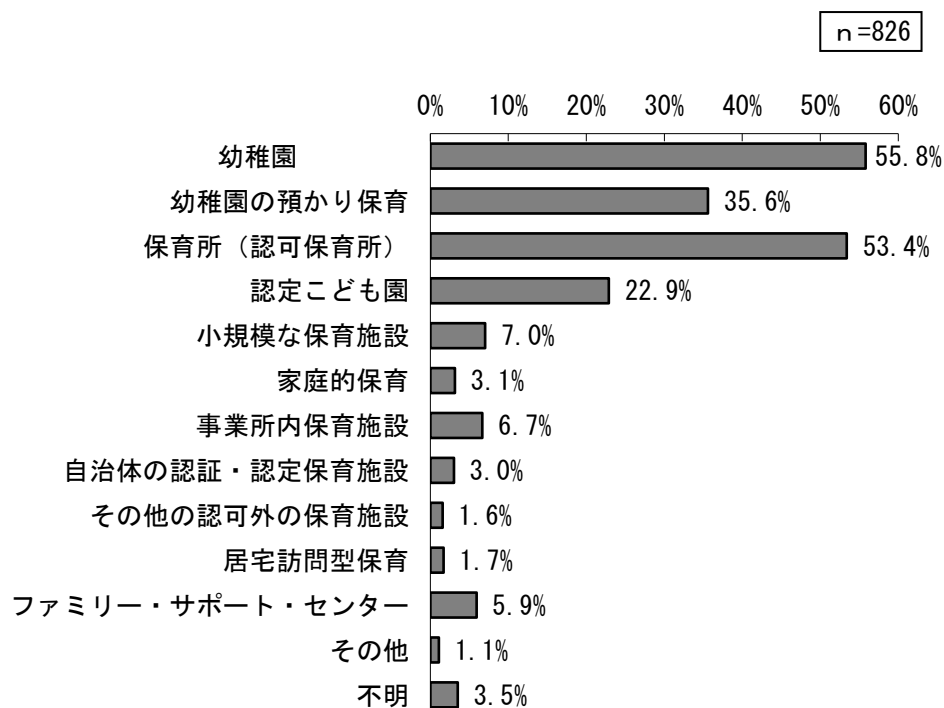
### ○定期的に利用している教育・保育事業

平日、定期的に利用している教育・保育事業については、「保育所（認可保育所）」が51.5%と最も大きく、次いで「幼稚園」が37.6%となっています。



## ○今後、定期的に利用したい教育・保育事業

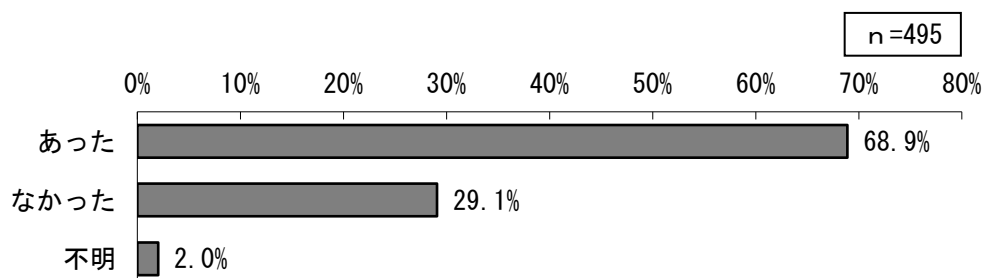
現在の利用有無にかかわらず、今後平日に定期的に利用したい教育・保育事業は、「幼稚園」が55.8%、「保育所（認可保育所）」が53.4%と大きく、次いで「幼稚園の預かり保育」が35.6%、「認定こども園」が22.9%と続いています。



## （３）子どもが病気やケガの際の対応について

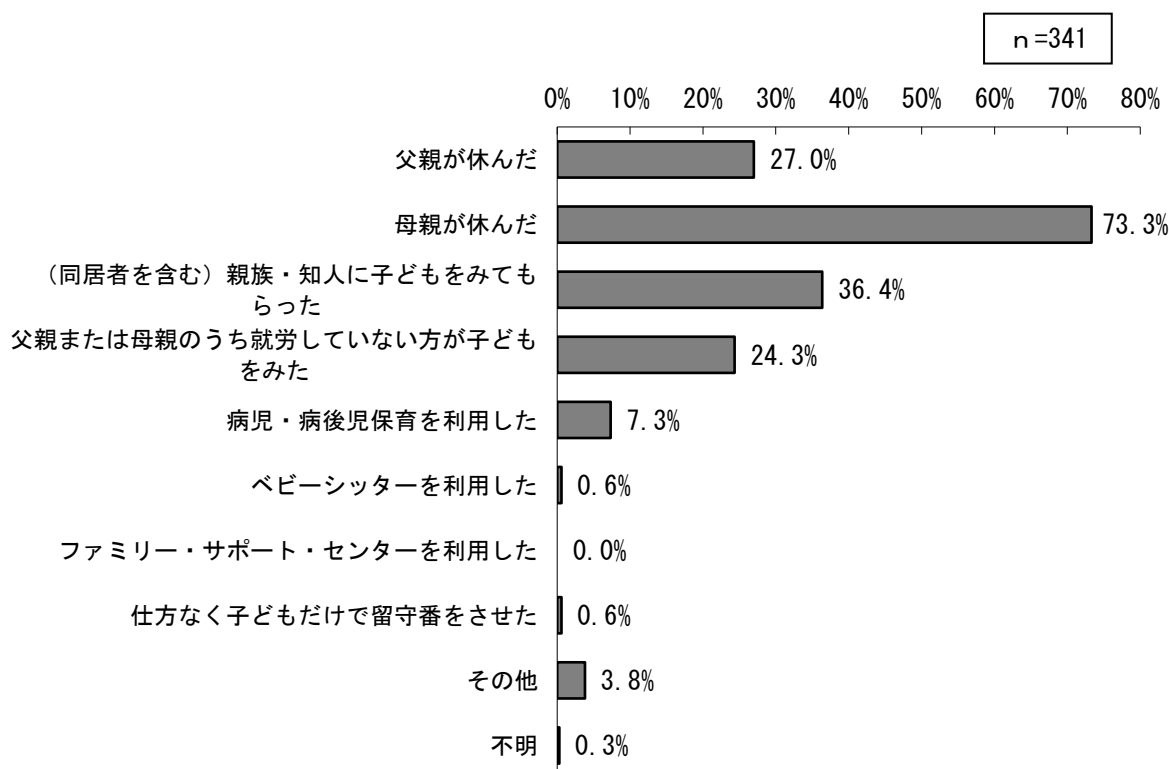
### ○病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったこと

子どもが病気やケガで平日の教育・保育事業が利用できなかったことの有無について、「あった」が68.9%、「なかった」が29.1%となっています。



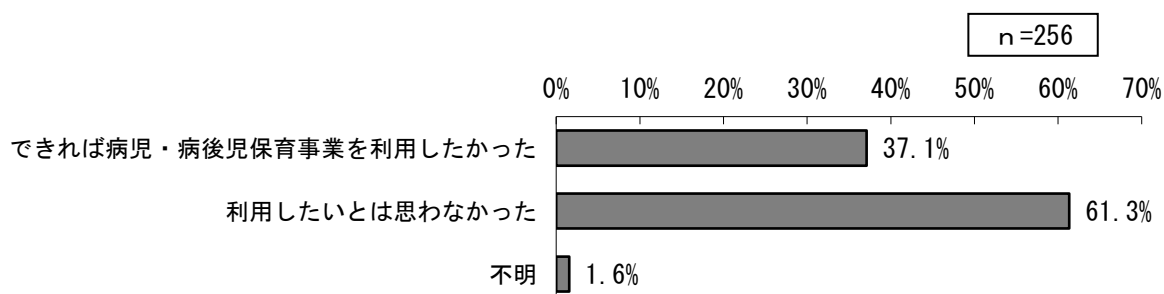
## ○病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったときの対処方法

子どもが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったときのこの1年間の対処方法については、「母親が休んだ」が73.3%と最も大きく、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が36.4%、「父親が休んだ」が27.0%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が24.3%となっています。



## ○病児・病後児保育の利用意向

病児・病後児保育施設等の利用意向について、「利用したいとは思わなかった」が61.3%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が37.1%となっています。

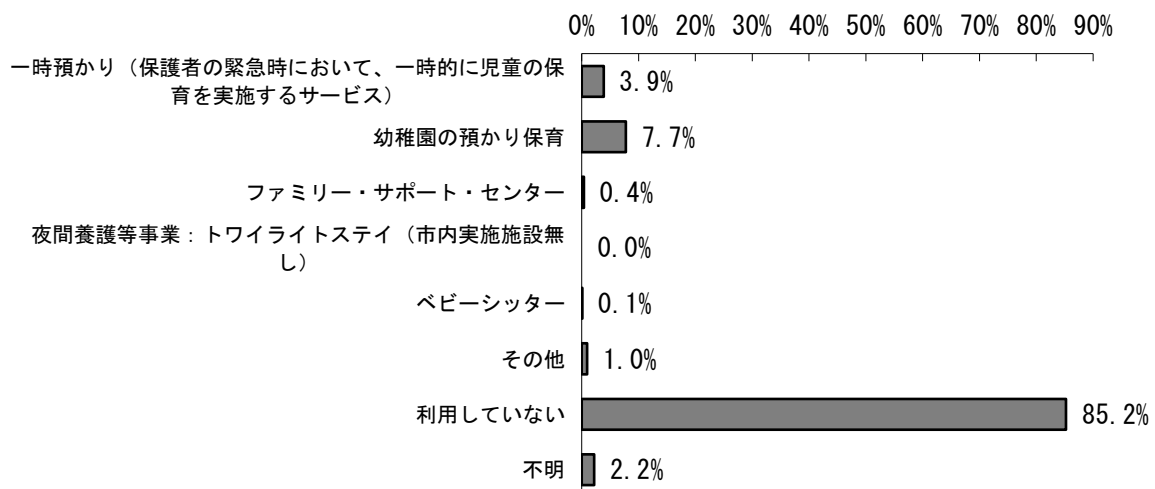


#### （４）不定期の教育・保育事業の利用について

○通院や不定期の就労等を目的とした不定期に利用している事業

保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業については、「利用していない」が85.2%と最も大きく、次いで「幼稚園の預かり保育」が7.7%、「一時保育」が3.9%となっています。

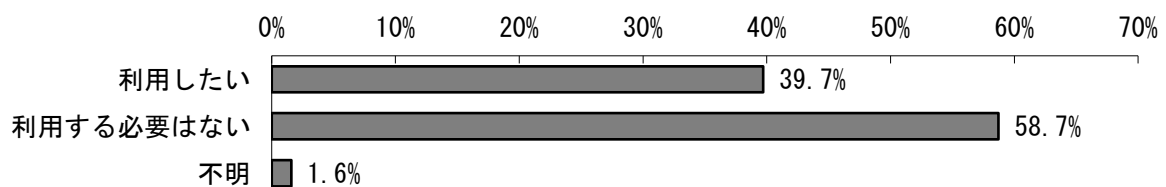
n=826



○不定期な事業の利用希望

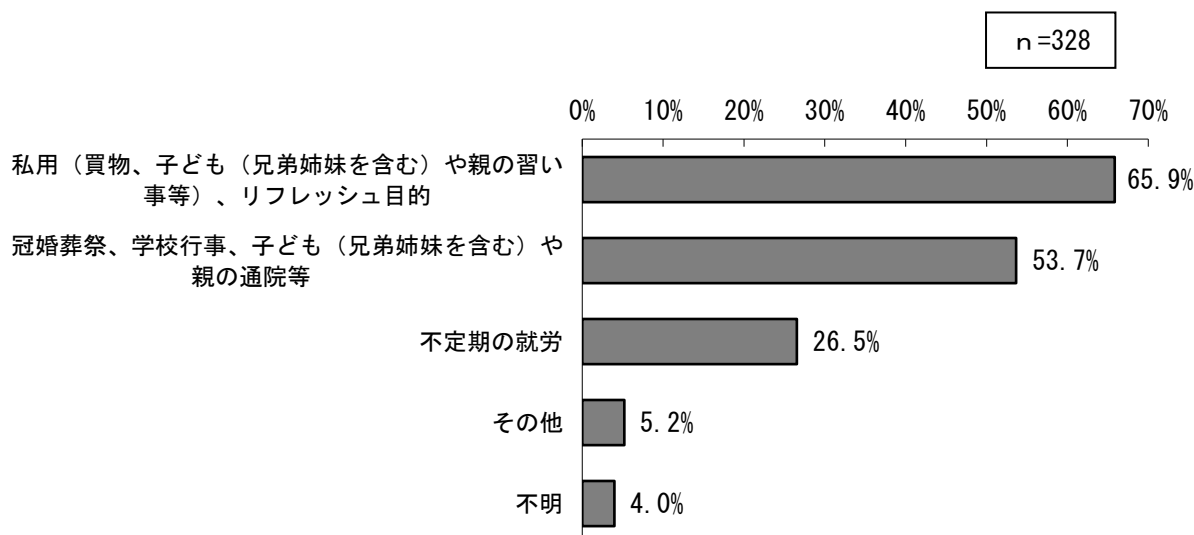
不定期の教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」が58.7%、「利用したい」が39.7%となっています。

n=826



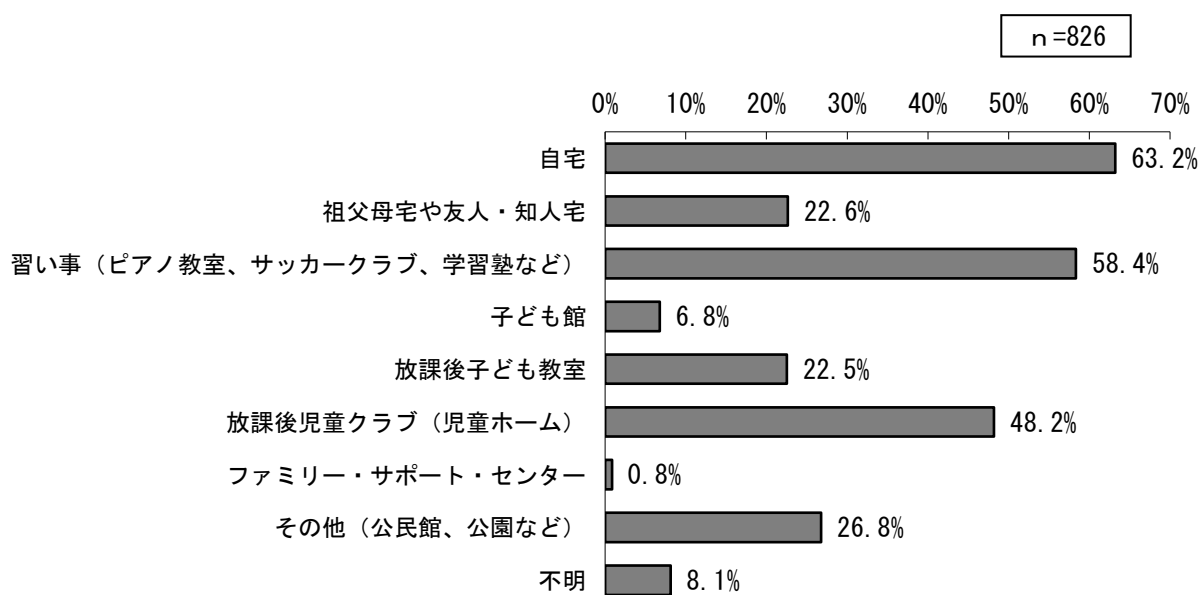
## ○不定期の事業の利用目的

不定期の教育・保育事業を利用目的としては、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が65.9%と最も多く、以下「冠婚葬祭、学校行事、子供（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が53.7%、「不定期の就労」が26.5%と続いています。



## （５）小学校就学後の放課後の過ごし方

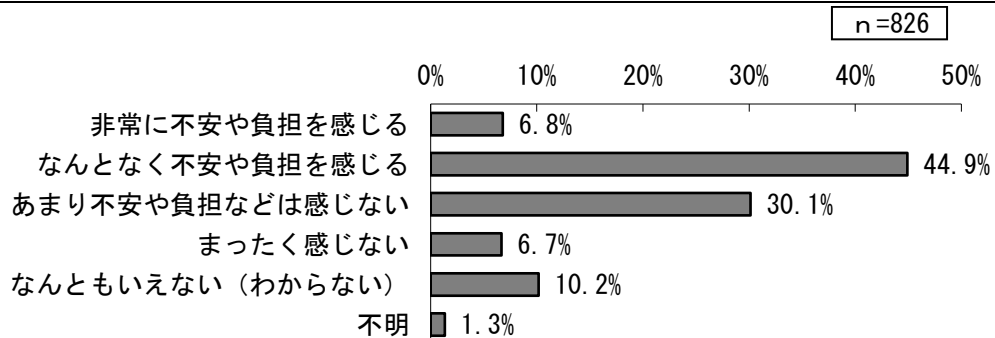
小学校生活のうち、それぞれの学年について、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかについて、多い順に「自宅」63.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」58.4%、「放課後児童クラブ（児童ホーム）」48.2%となっています。





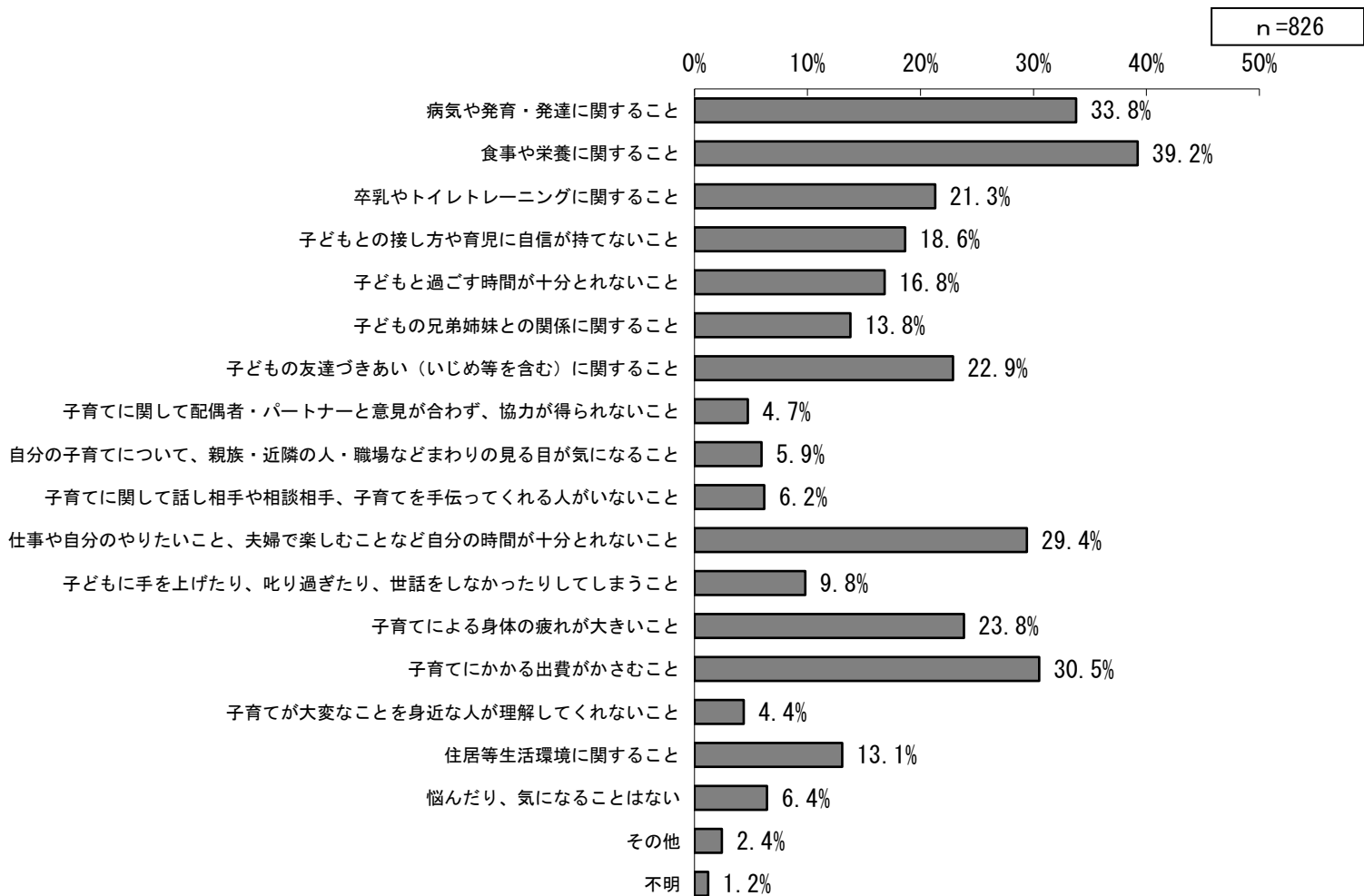
## （６）子育てに関する不安感や負担感について

子育てに関する不安感や負担感について、「なんとなく不安や負担を感じる」が 44.9%、「非常に不安や負担を感じる」が 6.8%となっています。



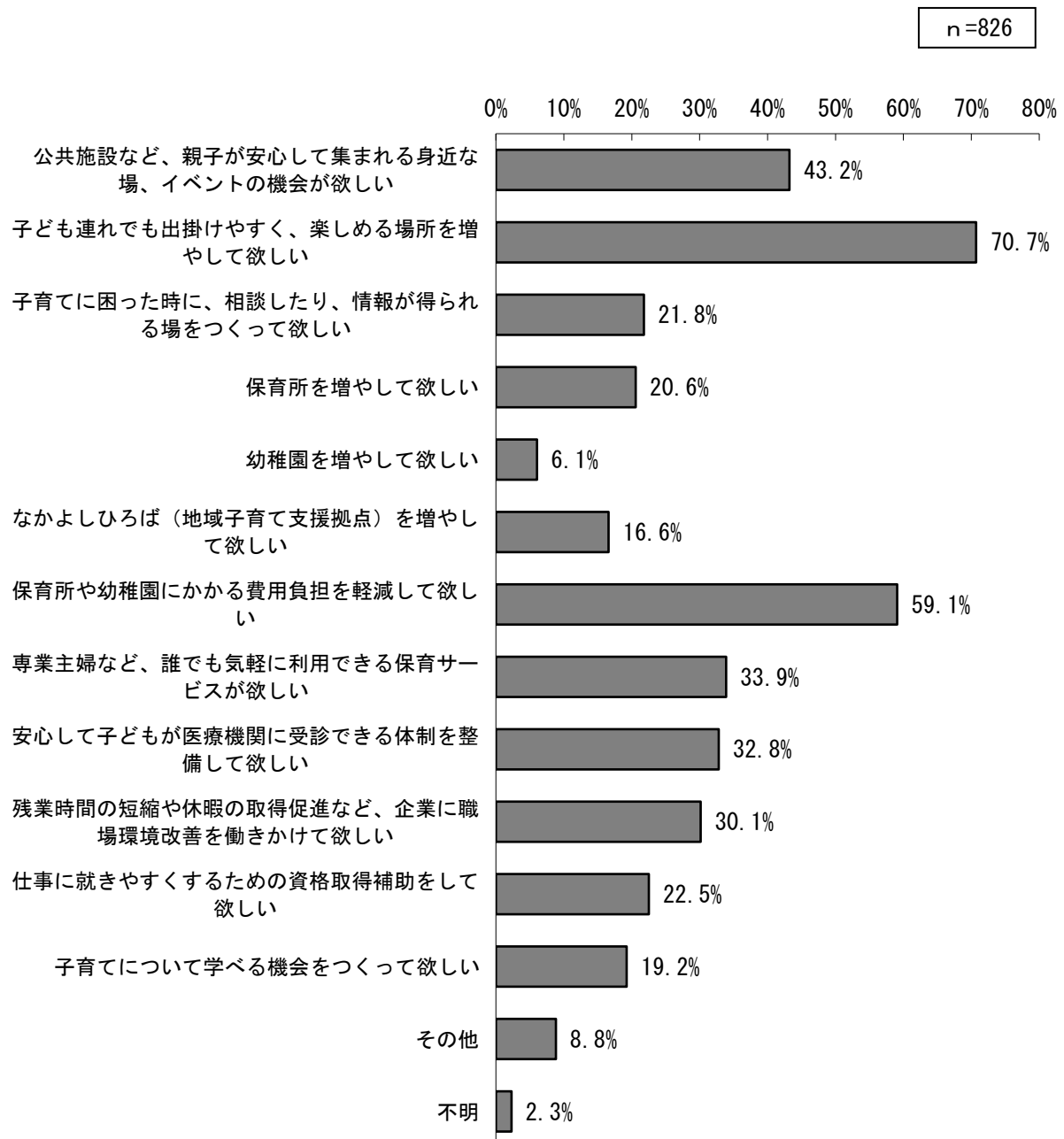
## ○子育てに関する悩み

子育てに関する悩み、気になることとしては、「食事や栄養に関すること」が 39.2%、「病気や発育・発達に関すること」が 33.8%、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 30.5%、「仕事や自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間が十分にとれないこと」が 29.4%となっています。



## 〇市の子育て支援に期待すること

充実して欲しいと期待する子育て支援は、「子ども連れでも出掛けやすく、楽しめる場所を増やしてほしい」が70.7%、「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい」が59.1%と大きくなっています。



## 2 調査の結果概要（小学生）

○調査対象：成田市在住の小学生がいる家庭の保護者 900 世帯

○調査期間：平成 30 年 11 月●日～平成 30 年 11 月 21 日

○調査方法：郵送配布・回収

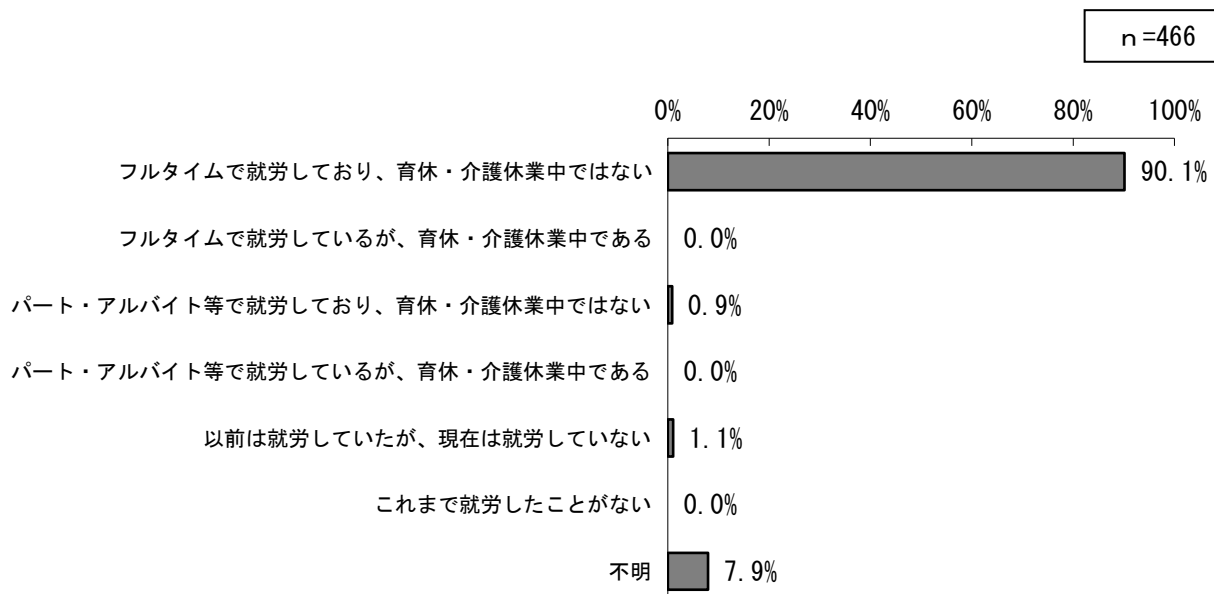
○配布・回収：

配布数	回収数	回収率
900 票	466 票	51.8%

### （１）両親の就労状況

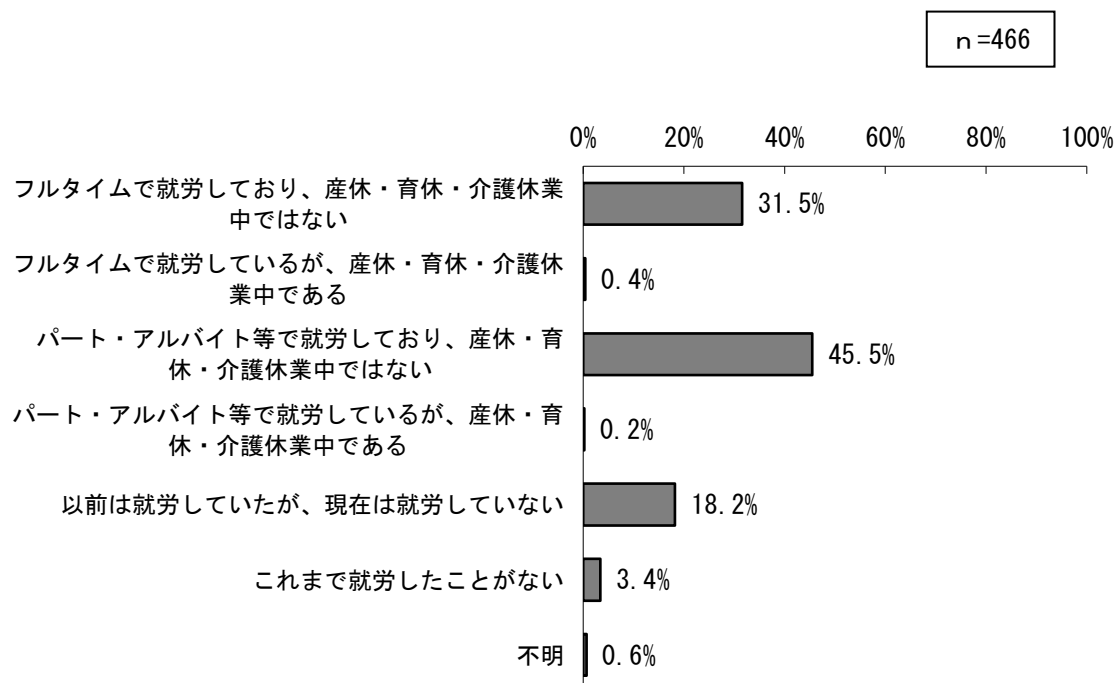
#### ○父親の就労状況

父親の就労状況は、「フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 90.1%と最も大きくなっています。



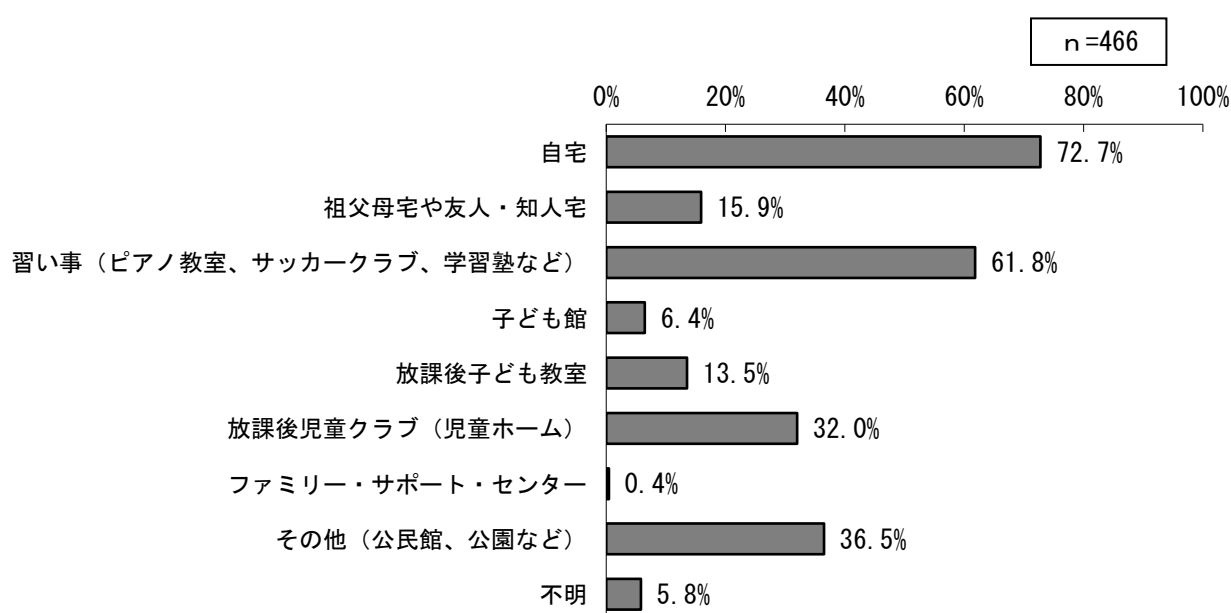
## ○母親の就労状況

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が45.5%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が31.5%、となっています。



## （２）放課後の過ごし方について

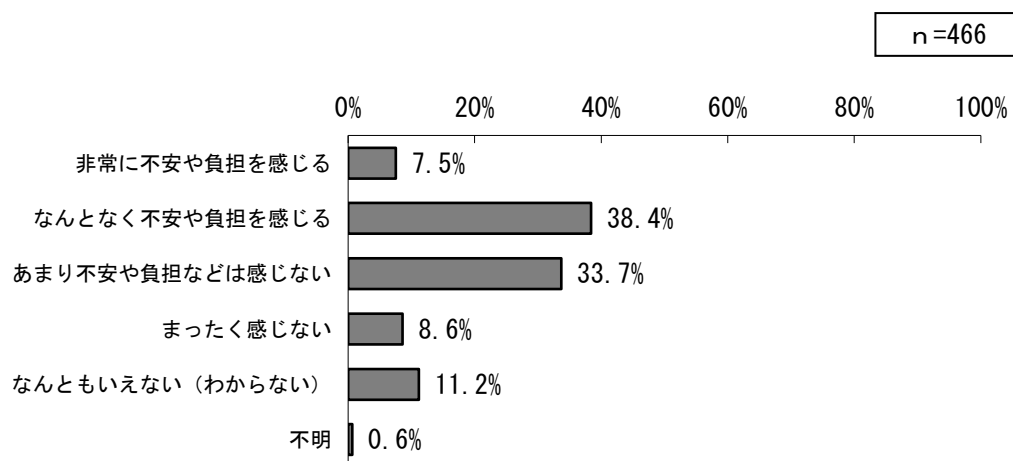
放課後の過ごし方については、「自宅」が72.7%と最も大きく、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が61.8%となっています。



### (3) 子育てと子育て環境について

#### ○子育てについての不安や負担

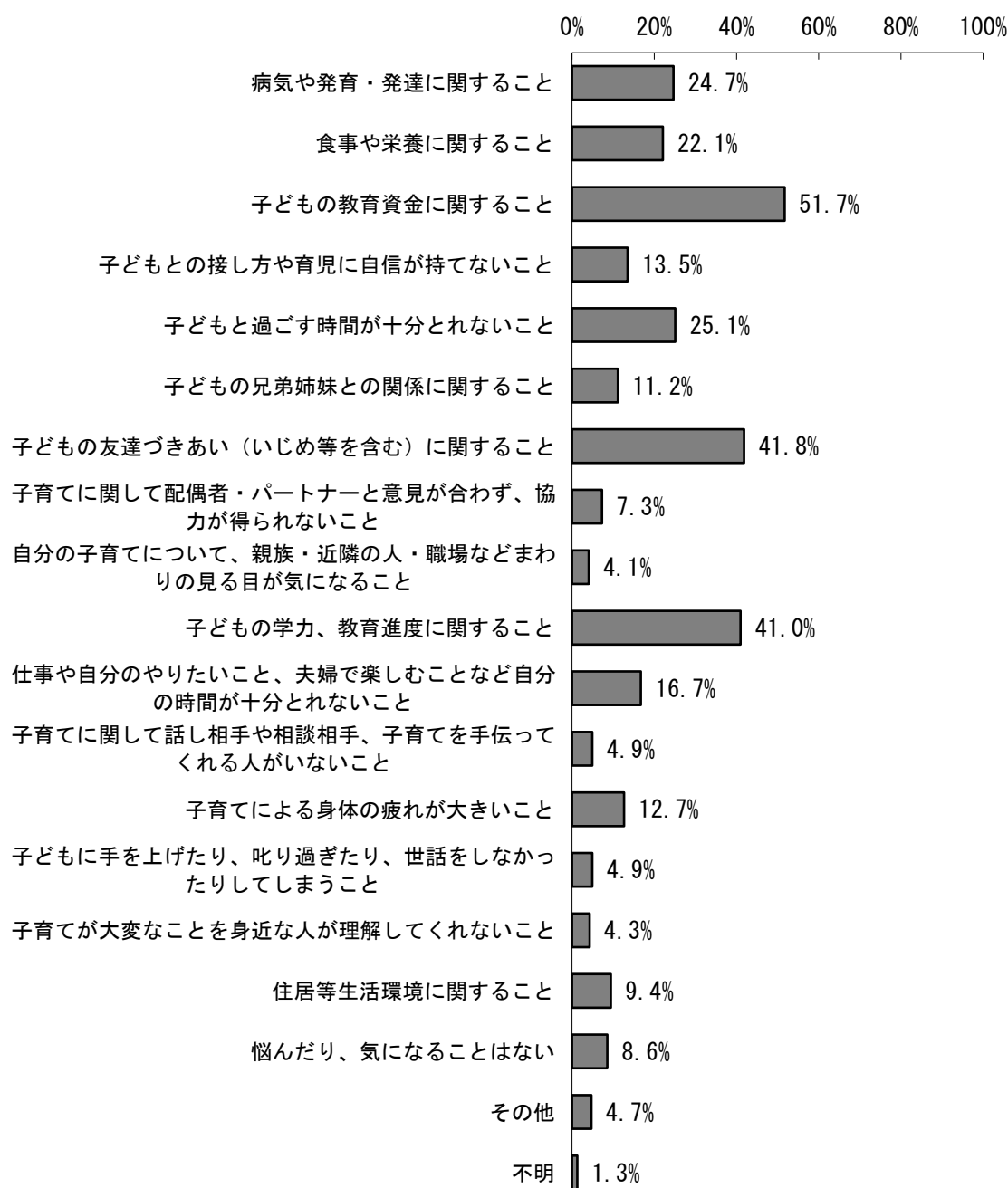
子育てに関する不安感や負担感について、「何となく不安を感じる」が 38.4%、「非常に不安や負担を感じる」が 7.5%、となっています。



## ○子育てについての悩み

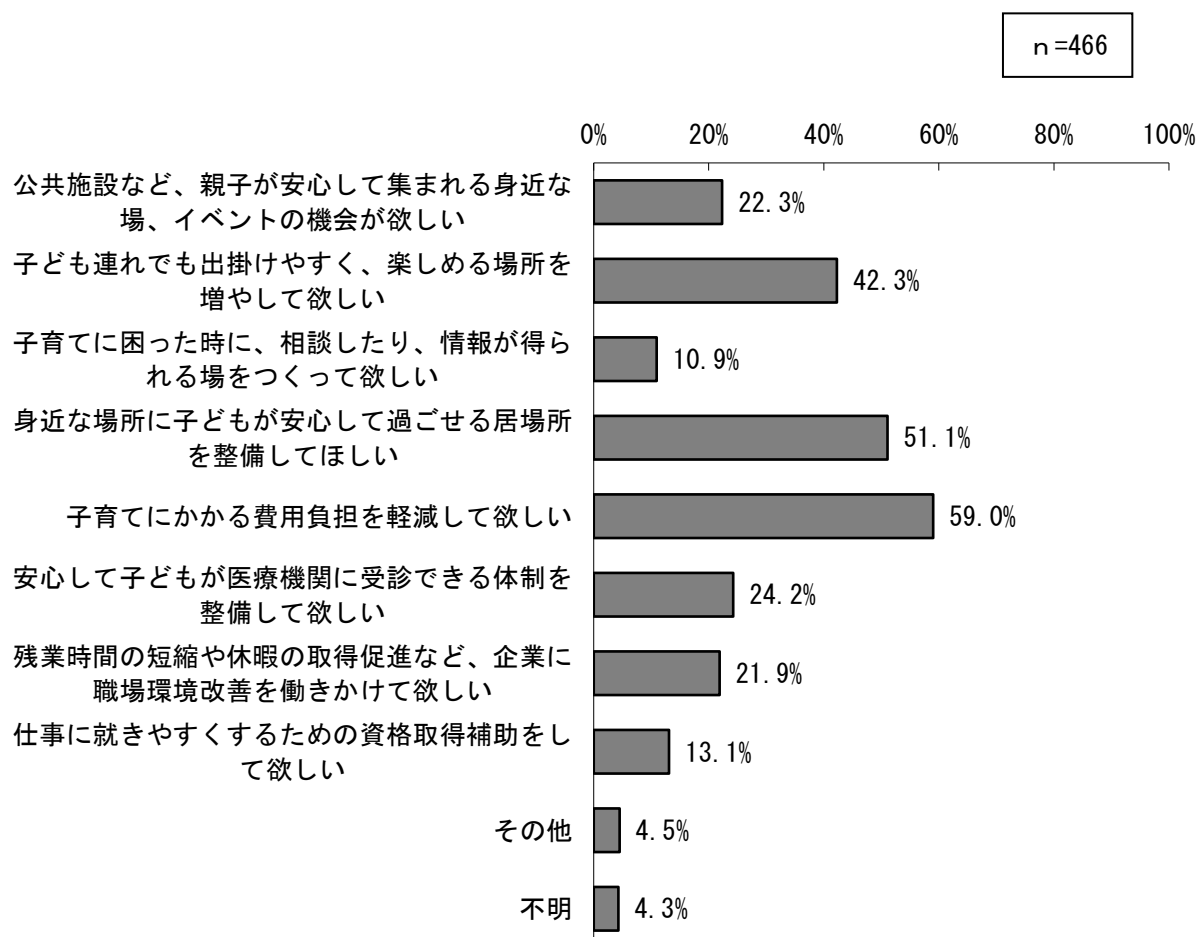
子育てに関する悩み、気になることとしては「子どもの教育資金に関すること」が51.7%、「子どもの友達づきあい（いじめ等を含む）に関すること」が41.8%、「子どもの学力、教育進度に関すること」が41.0%となっています。

n=466



## ○市の子育て支援に期待すること

充実して欲しいと期待する子育て支援は、「子育てにかかる費用負担を軽減して欲しい」が 59.0%、「身近な場所に子どもが安心して過ごせる居場所を整備してほしい」が 51.1%、「子ども連れでも出掛けやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が 42.3%となっています。



### 3 アンケート結果からみえる課題

---

#### ●子育て中の親と子どものための居場所づくり

小学生の保護者による、市の子育て支援に期待することについて、「身近な場所に子どもが安心して過ごせる居場所を整備してほしい」が 51.1%、「子ども連れでも出掛けやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が 42.3%、「公共施設など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」が 22.3%となっています。このように、子育て中の親が気兼ねすることなく出掛けることができ、子どもも楽しめる居場所づくりが求められています。

#### ●子育ての不安や負担を軽減するための取組

子育てについての不安や負担について、「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の合計は未就学児の保護者で 51.7%、小学生の保護者で 45.9%となっています。

子育てについての悩み（内容）については、未就学児の保護者で「食事や栄養に関すること」が 39.2%、次いで「病気や発育・発達に関すること」が 33.8%となっています。小学生の保護者では「子どもの教育資金に関すること」が 51.7%、次いで「子どもの友達づきあい（いじめ等を含む）に関すること」が 41.8%となっています。

また、市の子育て支援に期待することについて、未就学児の保護者では「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい」と答えた方が 59.1%、小学生の保護者では「子育てにかかる費用負担を軽減して欲しい」と答えた方が 59.0%となっています。

発達の段階に応じて悩みの内容は変化していますが子育てに不安や負担を感じ、悩みを抱えている親は多く、これらを軽減するため、よりよい子育て環境づくりや経済的な支援など、効果的な取組を進めていく必要があります。

#### ●病児とその家族を支える取組

未就学児の保護者による、子どもが病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったことについて、「あった」が 68.9%となっています。利用できなかった場合の対処方法については、「母親が仕事を休んだ」が 73.3%で、「病児・病後児の保育を利用した」は 7.3%にとどまっています。一方で、病児・病後児保育の利用意向については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が 37.1%となっています。

このため、子どもが病気等になった際でも、安心して対応できるような体制づくりや支援を今後も進めていく必要があります。